

## (2) 変数説明

### 2 段タンク型貯留関数モデルパラメータ最適同定プログラム変数説明

#### 1. 主プログラム

ncase	: 計算洪水数
title1	: 水系名
title2	: 河川名
title3	: 観測所名
title	: 洪水名
n	: 微分方程式の階数 (n=2)
m	: パラメータ個数 (m=3)
nl	: サンプル時間間隔の分割数 (nl=10)
kount	: 最大繰り返し回数 (kount=30)
p	: 収束許容限界値 $\varepsilon$ (p=0.01)
rb	: 流域平均雨量強度
cc1	: $c_{11}$ の初期値
cc2	: $c_{12}$ の初期値
c3	: $c_{13}$ の初期値
delta	: $\delta$ の値
tc	: 分離時定数( $T_c$ )の値
nal	: 地下水分離方法 (0: 地下水量 > 実測流量の時、地下水 = 実測とする。 1: 重み係数を使う)
p1	: $p_1$ の値 (cp1=0.6)
p2	: $p_2$ の値 (cp2=0.4648)
c00	: $c_0$ の値
c01	: $c_1$ の値
wk3	: $k_{21}$ の値
wk4	: $k_{22}$ の値
iy,im1,id1,ih1	: 計算開始年月日時
im2,id2,ih2	: 計算終了月日時
nr	: 雨量データ個数
nq	: 流量データ及び出力データ個数
area	: 流域面積
ipas	: 計算実行判別 (1: 計算する 2: 計算しない)
fac	: 緩和係数
hiryu	: 比流量
sotai	: 相対誤差
peakg	: ピーク誤差
r(i)	: 降雨データ
qr(i)	: 実測流量データ
q(i)	: 計算流量
qt(i)	: 直接流量
qq(i)	: 計算直接流量
b(i)	: 浸透供給量
q1_1(i)	: 地下水流出成分
q1_2(i)	: 計算地下水流出成分
pas(i,j)	: 感度係数行列

dpa(i) : パラメータ補正項

## 2 . 副プログラム chika

地下水流出成分の分離計算ルーチン

c0 :  $c_0$  の値

c1 :  $c_1$  の値

n : 地下水分離方法 (0: 地下水量 > 実測流量の時、地下水 = 実測とする。  
1: 重み係数を使う)

a : 重み係数 ( $\alpha$ )

qa(i) : 地下水流出

q1\_1(i) : 地下水流出

qr(i) : 実測流量データ

qt(i) : 直接流量

## 3 . 副プログラム cal2

線形方程式の数値計算ルーチン

phi1 ~ phi4 :  $\phi$  の値

gam1 ~ gam4 :  $\gamma$  の値

q1(i) : 計算流量

## 4 . 副プログラム phigam

、 の計算ルーチン

phi1 ~ phi4 :  $\phi$  の値

gam1 ~ gam4 :  $\gamma$  の値